

1 単元名 ポスターを使って発表しよう

「ポスターでしようかいたします～4年生のみ力！～」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、4年生ではどのような学習があるのか、どのような活動があるのかを文や図、表、グラフなどを使って効果的に視覚化し、それらをポスターにまとめて示しながら発表するものである。3年生に向けて発表を行うことで、相手意識をもって学習することができ、相手に分かりやすく伝えるための手立てを身につけ、「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。」ができるようになると考え設定した。

因みに、新学習指導要領における「話すこと・聞くこと」に関する指導事項では、以下の部分に関わってくる。

構成の検討、考えの形成（話すこと）

イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）

エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

これを踏まえて、4年生ではポスターを用いたポスターセッションに取り組み、ポスターを利用した発表の方法を知ると共に、相手意識をもって理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す力をつけられるようにする。

(2) 児童の実態

〈アンケート調査〉

質問	回答	人数
1. 人前で話したり発表したりするとき、気を付けていることは何ですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ ・はっきり話す ・相手の顔を見る ・内容を分かりやすくする ・話す速さ ・態度や姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 16人 11人 8人 8人 4人 2人
2. 友達や先生が発表や話をしているときに、気を付けていることは何ですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見る ・集中して聞く ・メモを取る ・静かに聞く ・頷きながら聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 20人 10人 10人 4人 4人

	・体を相手に向ける	1人
3. ポスターを使って発表すると、どのような良さがあると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一目で分かる ・内容が分かりやすい ・後から振り返ることができる ・たくさんの人が見られる ・興味をもちやすい ・分からない(無記入) 	14人 14人 2人 1人 1人 6人
4. 人前で話したり発表したりするのは好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・とても好き ・好き ・あまり好きではない ・好きではない 	6人 12人 15人 5人
5. 友達や先生の発表や話を聞くのは好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・とても好き ・好き ・あまり好きではない ・好きではない 	8人 23人 5人 2人

〈ちばっ子チャレンジ100〉
ポスターセッションをしよう

問題	正答	正答人数
1. 発表する時にポスターがあるとなぜよいのか書きましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく伝えられる ・絵があると分かりやすい ・全体を一目でつかめる 等 	34人
2. 発表したいことの中心を選びましょう。	・便利な道具もあるが、町で困ることもあるので、私たちも手をかそうという呼びかけ	28人
3. 2番目に話す時に、どのようなつなぎ言葉を入れるとよいでしょう。	・次に	14人
4. 聞き手にしつ問するような言い方には、どのような良さがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に考えてもらうため ・聞き手の注意を引き出すため 等 	16人
5. 「いいえ、そういうわけじゃない」をおうちの方向けに直して書きましょう。	・「いいえ、そういうことでは(そんなことは)ありません」	24人
6. 指定の言葉を入れて、説明する文章を作りましょう。(ブザー・玄関・ライト・光る)	・お客さんが来て、玄関のブザーを鳴らすと、ブザーに反応して部屋のライトが光ります。 等	20人

本学級は、学級会やグループでの話し合い活動に意欲的に取り組み、相手の意見を聞いたり、自分の考えと比べたりすることが好きな児童が多い。また、国語科以外の教科でも、総合的な学習の発表や、学活の学級会、算数科の練り上げ等を通して、年度当初より意見を伝えたり聞いたりする活動を多く取り入れてきた。理由や筋道を立てて話すことができるようになってきている児童もいる一方で、相手に分かりやすく伝えることを考えていなかったり、自分本位の意見になってしまったり

する児童もいる。また、ノートや学級会シートには自分の意見を書けているのに、人前で発表することに苦手意識をもっている児童も20名と半数以上いる。担任や友達の話の聞くことが好きだと答えている児童は31名と多いが、好きではないと答えている児童も7名いる。また、相手の意図を考えながら話を聞いている児童と、ただ聞いているだけで、内容を理解しようとしていない児童がおり、二分化している。ポスターの有用性については、「内容が分かりやすくなる」や、「一目で分かる」等視覚的に有用なことに気付いている児童が28名いたが、無回答や「分からない」と答えた児童も6名いた。ポスターを使った発表は、約半数の児童が11月の総合の学習で取り組んだが、発表メモをそのままポスターに書いていたり、図や表など視覚的に有効なツールを活用しきれていなかったりしており、ポスターを効果的に活用できていない現状がある。

人前で話したり発表したりする時に気を付けていることを質問したところ、中学年の思考力・判断力・表現力の目標の一つである「理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう」を意識している児童は0名であった。また、話の内容について気を付けている児童は8名だが、話の仕方を挙げている児童は34名と大半の児童が意識していることが分かる。

聞くときに気を付けていることについては、「メモを取る」が10名、「相手を見る」等姿勢に関することが37名とほぼ全員が気を付けていると答えている。無回答はいなかったが、「静かに聞く」等具体的な答えを挙げていない児童が4名いた。

(3) 指導観

自分たちが3年生だった時に感じていた「4年生」よりも、実際に1年間4年生として学んだことや経験したことの方が、楽しかったり面白かったりしたと感じている児童が多い。そこから、3年生に向けて、4年生ではこんな楽しいことや面白いことがあるということを紹介したいという意欲が高まり、本単元の設定に至った。4年生での学習や校外学習など、児童が紹介したいと思う内容を学級会で話し合って決定し、グループでインタビューやアンケートを活用して情報を集めたりポスターを作成したりして発表にむけて準備をする。また、ポスターを有効に活用するために、どういう点に気を付けて作成したり発表したりするのか全体で確認することで本単元の指導事項である「イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。」が達成できると考える。

また、ちばっこチャレンジ100の問題では、ポスターの有用性や、ポスターの読み取りの問題では正答人数が多いのに対し、発表する時の言い方や相手に伝えるための工夫を問う問題では、正答人数が少なかった。そこで、ポスターを使って発表する時に気を付けることや、相手に内容を伝わりやすくする工夫を実際にポスター発表の実演を見て、見つけられるようにしていく。そして、見つけた工夫やポイントを「ポスター達人への道」に書き入れていくことで、学習の積み重ねを見えるようにし、いつでも振り返ることができるようにする。

第三次において、実際に3年生に向けてポスターで発表し、振り返る時間を確保する。今までの学習のまとめとして発表することで、本単元の理解を深めるだけでなく、相手に伝わる発表のし方を意識することができるようになると思う。また、振り返りをするすることで、今後発表する時にも学んだことを生かしていきたいという意欲につなげていきたい。

3 単元の目標

・積極的に、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方な

どを工夫し、見通しをもって調べたことを発表し合おうとしている。

【学びに向かう力・人間性等】

・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 【思考力・判断力・表現力等】

・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 【知識及び技能】

4 指導計画（8時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	評価規準【評価の観点】（評価方法）
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを使って、3年生に4年生の学習を伝えようという意欲をもつ。 ・単元名やリード文を読み、資料を効果的に活用して発表する方法について話し合い、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を効果的に活用する方法について考え、ポスターを使った発表に意欲的に取り組もうとする。 <p>【学びに向かう力・人間性等】 (発言)</p>
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・決めよう・集めよう 3年生に伝えたいことを決め、資料を集める。 (1) 教科書を読んで全体の流れを確認する。 (2) 学習計画を立て、テーマやグループを決める。 (3) 調べる方法を考える。 (4) テーマにそって調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた資料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 <p>【思考力・判断力・表現力等 A】 (話し合い・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 <p>【知識及び技能】 (発言・ノート)</p>
	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの書き方を知ろう ポスターの有効な使い方を確認し、グループのポスターの構成について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを有効に活用するための工夫を考え、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いて考えを広めたり深めたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等 A】 (話し合い)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立てよう 発表の組み立てを考えて、練習する。 *声の大きさ、間、強弱などの観点をはっきりさせて練習する。 *発表したら助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 <p>【思考力・判断力・表現力等 A】 (発言・ワークシート)</p>

		*練習後には資料の効果について確認する。	・話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 【思考力・判断力・表現力等 A】 (発言・ワークシート)
第三次	2	・話そう・聞こう・伝え合おう資料を使って発表会をする。 (1)発表するときと聞くときの大事なことを確認し、発表会を行う。 (2)質問や感想を伝える。 (3)単元の振り返りを行う。	・質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりしている。 【思考力・判断力・表現力等 A】 (発表・ワークシート) ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えを持っている。 【思考力・判断力・表現力等 A】 (発言・ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ポスターを有効に活用するための工夫を考え、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いて考えを広めたり深めたりしている。

【思考力・判断力・表現力等 A】

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	1 本時のめあてを確認する。 ポスターを使って発表する時に大事なことを確認し、ポスターの構成を話し合っ決めてよう。		学習カード
7	2 2枚のポスターを見て、より相手に内容が伝わりやすいポスターを選ぶ。 A 絵や図、表、グラフが中心のポスター B 文章が中心のポスター ポスターには、絵や図、表、グラフを中心に載せた方が、遠くから見ても分かりやすく、内容も伝わりやすい。	・ポスターの違いに気付けるように、差異をはっきりさせる。 ・発言するときは、意見と一緒に理由も併せて伝えることを確認する。 ・出てきた意見を「ポスター達人への道」に書き入れる。	ポスター 学習カード ポスター達人への道

5	<p>ポスターを使った二通りの発表を聞き、どちらの方が内容が伝わりやすいか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A 発表原稿を見たり、ポスターの方を向いたりして発表する。</p> <p>B 相手を見て、話す速さや声の大きさに気を付けて発表する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手を見ながら発表した方が、聞き手は話を聞きやすい。また、話す声の大きさや速さに気を付けると内容が伝わりやすくなる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の違いに気付けるように、差異をはっきりさせる。 ・発表を聞くときに、メモを取りながら聞くことで、話の中心を捉えたり自分の意見をもてたりするようにする。 	<p>掲示物</p> <p>学習カード</p> <p>ポスター達人への道</p>
25	<p>3 ポスターの構成を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半で確認したことをもとに、グループで自分たちのポスターに①何を②どこに③どのようにして入れるのか話し合う。 ①何を 3年生に特に伝えたいことと、そうではないことを取捨選択し、必要な情報を決める。 ②どこに ポスターのどの場所にどの情報を入れるとより効果的か考える。 ③どのように 写真やグラフ、絵、吹き出し等、載せる情報に合った表現の仕方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い方を全体で確認し、発言するときは、意見と一緒に理由も併せて伝えることを確認する。 ・話し合いの時に、聞き手である3年生にとって聞きたい情報かそうでないかを考えさせるようにする。 ・付箋を使って実際に紙に貼りながら確認することで、どこに情報を配置するとより効果的か考えられるようにする。 ・情報を載せる表現のそれぞれの良さを確認し、どの表現方法が一番載せたい情報を効果的に伝えられるかを考えられるようにする。 <p>○ポスターの構成について、理由を挙げながら自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いて考えを広げたりすることができる。</p>	<p>学習カード</p>

5	4 話し合いを振り返る。 話し合いについて振り返りを行い、学習カードに記入する。	(発言・ワークシート) ・次時からポスターを作成したり、発表の練習をしたりするための見通しをもつことができるように本時の学習の振り返りをする。	学習カード
---	---	--	-------

6 成果と課題

- ポスターを使って発表する相手や内容を児童に考えさせ、調べたり発表したりする目的を明確にしたことで、児童が主体的に学習に取り組むことができた。また、全員が課題を調べたり記事を書いたりできるように、グループの人数を4～6人に設定したことで、一人一人が意欲をもつことができた。
- ポスターの作り方や発表の仕方を二例提示し、児童がどのようなことに注意してポスターの作成や発表をしたら良いのか気付けるようにした。また、気付いたことを自分の言葉で説明できるように、児童がすぐに違いに気付けるように差異を明確にしたことと、差異を児童の言葉できちんと説明できるように説明の仕方を提示した。
- 学習の見通しをもてるように、ワークシートを工夫した。単元の進め方を児童と一緒に計画し、ワークシートに書き込んだ。また、毎時間記入した計画に戻って次時の見通しをもつとともに、振り返りができるようにした。学習に必要なことをワークシートにまとめることで、学習の足跡が残り、困った時や悩んだ時に活用するなど、学んだことの定着を図ることができた。
- △調べたことを活用してポスターを作成する中で、相手を意識して視覚的に分かりやすくまとめられる児童が多かったが、3年生に4年生の魅力を伝える、という目的がやや忘れられがちだった。3年生に分かるだけでなく、4年生の魅力をどのように伝えたら良いか、児童が考えを深められるような手立てが必要だった。
- △3年生に発表するために発表メモを作成したが、発表に不安のある児童は、メモが原稿のようになってしまって、相手を見て発表することができるようになるまで時間がかかった。発表するために必要なことをピックアップし、暗記ではなく、ポイントを追いながら発表できるようになるよう、発表メモの形を工夫する必要があった。また、新型コロナウイルスの影響のため、練習の段階で学習が終わってしまい、実際に3年生に発表することができなかった。